

平成22年度稲作ごよみ

おいしいお米
なのはなブランド
「八町米」

うるち玄米1等比率90%以上

- ① 適正水分(14.5~15.0%)であること
- ② 整粒歩合が高いこと(80%以上)
(胴割粒、未熟粒、被害粒が少ないこと)
- ③ 白度が高いこと(玄米白度20)
- ④ 蛋白含量が低いこと(精米蛋白5.5%)
- ⑤ 生産履歴記帳とGAP徹底

「高品質で売れるなのはな米」

なのはな農業協同組合
なのはな農協地区農業技術者協議会

の生産に向けて

～基本技術の徹底を図ろう～

月日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月～3月
水管理	深水	深水	浅水(チラ干しにしない)	中干し	間断かん水	(水を切らさない)	落水は急がない
栽培管理のポイント	丈夫な苗をつくる	太い分けつを早くとる	根を十分に張らす	倒伏させずに、登熟を高める	おいしく仕上げる	土づくり	
早播きはしない	<ul style="list-style-type: none"> ● かん水の調整で丈夫な苗にする ● ハウス内の排水を徹底する ● 一箱当たり120gのうるちまででガッチリ苗にする 						
換気の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ● 気象条件に応じて搬出直後から換気する。 						
活着後、浅水管理で質の良い分けつを早くとる	<ul style="list-style-type: none"> ● 除草剤は適期・適量を確認して散布する ● 植付本数は3〜4本で3cmの浅植にする ● 栽植密度は60〜70株植を確保する! ● 田植後は5月15日を中心! ● 基肥は標準量を守る ● イネミスゾウムシの防除(Drオリゼダントツ) ● 苗箱施薬による葉いもち、ドロオイムシ、ニカメイチュウ ● 代かきでの均平はしていないに行つ 						
6月上旬までに溝を切る!	<ul style="list-style-type: none"> ● 中干し効果の向上・かん排水の効率化をはかる 						
中干し後は出穂まで間断かん水を励行する	<ul style="list-style-type: none"> ● 田面に亀裂が入り、足跡が1〜2cm沈む程度まで ● 強くならないように注意する ● 中干しの程度は、土壌条件によって調整し ● 一株の茎数が16〜17本程取れたら中干しを始める ● 中干しは遅れず、しっかりと! 						
畦畔農道等の草刈りを徹底する	<ul style="list-style-type: none"> ● チェツ ● 空気が足りなかつたもんな! 						
穂肥の施用は必ず幼穂長を確認してから。	<ul style="list-style-type: none"> ● 幼穂 						
集落共同一斉防除	<ul style="list-style-type: none"> ● 葉色と幼穂長を15ミリ確認し適期に適量を施す ● 一回目の穂肥は慎重に ● 穂肥時期までに葉色を3.6に誘導 ● 二回目の穂肥は一回目穂肥を施用した一週間後を目安に ● 穂摘期の葉色を4.2〜4.5に誘導(砂壌土地帯は4.5) ● 出穂直前のブラシンバリダ粉剤による防除(穂いもち・紋枯病) ● 傾穂期のトレボンスター粉剤によるカメムシ類防除(穂いもち、ウンカ、ヨコバイ、カメムシ類防除) ● 穂摘期のゲットワン粉剤による防除 ● 出穂後20日間は湛水管理の徹底 						
カメムシ類が多発時の場合。但し、早生は必ず防除する	<ul style="list-style-type: none"> ● アカヒゲホソミドリカスミガメ ● トゲシラホシカメムシ ● 斑点米 						
出荷に努める	<ul style="list-style-type: none"> ● 1.9mmの網目を使用し、細粒や屑米の混入を防止し良質米の適正な乾燥で水分「14.5〜15.0%」に仕上げよう ● 粗黄化率85〜90%頃に刈取る ● 刈取り7日前までの間断かん水を徹底する ● ※特にフェーンが予想される場合は事前に入水する。 ● 青点線内の2次枝梗籾が黄化した時 						
堆肥・土壌改良資材等を施用し、しっかりと土づくりを行なう	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 有機物の施用 <ul style="list-style-type: none"> ● 牛・豚ふん堆肥 1〜2t/10a ● 発酵けいふん 150kg/10a ● 稲わらは全量すき込む。 ● 2 土壌改良資材の施用 <ul style="list-style-type: none"> ● 珪酸石灰 100kg/10a ● スーパー活源 60kg/10a ● シリカロマン 60kg/10a ● シリカイクス45 40kg/10a ● 3 深耕し <ul style="list-style-type: none"> ● 秋耕しと春耕しの2回掛けが効果的 						

土壌にあった施肥でおいしい米づくり

本田施肥設計例(10a当たり)(有機含有肥料を施用しおいしい米(食味値80以上)にする設計例です。)

品名	土質	地力増強資材		基肥・早期追肥				中間追肥		穂肥																	
		発酵鶏糞	土壌改良資材	設計例I	設計例II	設計例I	設計例II	設計例I	設計例II	設計例III	設計例I	設計例II	設計例III														
新大正糯	砂質田	右表参照	右表参照	35kg	30kg	30kg	10kg	25kg	10kg	10kg~20kg	20kg~40kg	-	10kg以内	12kg以内	-	10kg以内	12kg以内	20kg									
	壤質田	〃	〃	30kg	25kg	25kg	10kg	20kg	10kg	10kg~20kg	20kg~40kg	-	10kg以内	12kg以内	-	10kg以内	12kg以内	15kg									
	粘質田	〃	〃	25kg	20kg	20kg	10kg	15kg	10kg	10kg~20kg	20kg~40kg	-	10kg以内	12kg以内	-	10kg以内	12kg以内	15kg									
てんこもり	砂質田	〃	〃	45kg	40kg	40kg	10kg	35kg	10kg	10kg~20kg	20kg~40kg	10kg	13kg	-	10kg	13kg	-	-									
	壤質田	〃	〃	40kg	35kg	35kg	10kg	30kg	10kg	10kg~20kg	20kg~40kg	10kg	12kg	-	10kg	12kg	-	-									
	粘質田	〃	〃	35kg	30kg	30kg	10kg	25kg	10kg	10kg~20kg	20kg~40kg	10kg	12kg	-	10kg	12kg	-	-									
一発基肥	砂質田	〃	〃	なのはな有機一発基肥1号	40kg	なのはな有機一発基肥1号	45kg	20kg	BBPKケイ酸20kg~40kg	一発基肥肥料は田植時期や土壌によって施用量を減減しましょう。また、リン酸分及び加里成分が不足がちになりますので必ずエスアイ加里特号またはBBPKケイ酸を施用するようにしましょう。	20kg	20kg	BBPKケイ酸20kg~40kg	20kg	BBPKケイ酸20kg~40kg	20kg	BBPKケイ酸20kg~40kg	20kg									
	壤質田	〃	〃	なのはな有機一発基肥2号	35kg	なのはな有機一発基肥2号	40kg	20kg	BBPKケイ酸20kg~40kg										20kg	BBPKケイ酸20kg~40kg	20kg	BBPKケイ酸20kg~40kg	20kg	BBPKケイ酸20kg~40kg	20kg		
	粘質田	〃	〃	なのはな有機一発基肥2号	30kg	なのはな有機一発基肥2号	35kg	20kg	BBPKケイ酸20kg~40kg																	20kg	BBPKケイ酸20kg~40kg
てんこもり	砂質田	〃	〃	てんたかくはLPS早生専用	45kg	てんたかくはLPS早生専用	50kg	20kg	BBPKケイ酸20kg~40kg	20kg	BBPKケイ酸20kg~40kg	20kg	BBPKケイ酸20kg~40kg	20kg	BBPKケイ酸20kg~40kg	20kg	BBPKケイ酸20kg~40kg	20kg									
	壤質田	〃	〃	てんこもりはLPSS晩生専用	40kg	てんこもりはLPSS晩生専用	45kg	20kg	BBPKケイ酸20kg~40kg										20kg	BBPKケイ酸20kg~40kg	20kg	BBPKケイ酸20kg~40kg	20kg	BBPKケイ酸20kg~40kg	20kg	BBPKケイ酸20kg~40kg	20kg
	粘質田	〃	〃	てんこもりはLPSS晩生専用	35kg	てんこもりはLPSS晩生専用	40kg	20kg	BBPKケイ酸20kg~40kg																		

※大豆跡田は、基肥量をN成分で5〜7割減らしたり、倒伏に強い品種の作付に努めましょう。又、土壌改良資材を必ず施用しましょう。

適正な農薬使用で安心な米づくり

病害虫防除体系	水稲除草体系	農薬の適正使用について
<p>一般水稻基本防除体系</p> <p>移植3日前〜移植当日(1箱当たり50g)</p> <p>Drオリゼダントツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いもち病 ・白葉枯病 ・イネドロオイムシ ・イネミスゾウムシ ・ニカメイチュウ <p>出穂直前(10a当たり3〜4kg)</p> <p>ブラシンバリダ粉剤DL(収穫21日前まで)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いもち病 ・もんがれ病 ・穂がれ変色米 ・こま葉枯れ病 <p>穂摘期(10a当たり3〜4kg)</p> <p>ゲットワン粉剤DL(収穫14日前まで)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いもち病 ・ツマグロヨコバイ ・ニカメイチュウ ・ウンカ類 ・カメムシ類 <p>カメムシが多発した場合(10a当たり4kg)</p> <p>トレボンスター粉剤DL(収穫7日前まで)</p>	<p>一般圃場</p> <p>田植時〜20日まで(但し砂壌土は移植後3〜20日)</p> <p>トップガンGT1キロ粒剤 トップガンLフロアブル(ノビエ3.0葉期まで)</p> <p>田植後3〜15日まで</p> <p>トップガンLジャンボ(ノビエ2.5葉期まで)</p> <p>田植時〜20日まで</p> <p>ヨシキタ1キロ粒剤(ノビエ1.5葉期まで)</p> <p>雑草の多い圃場</p> <p>田植時〜7日以内</p> <p>ピラクロンフロアブル(ノビエ1.5葉期まで)</p> <p>田植後20〜25日以内</p> <p>アピロトップ1キロ粒剤 カービー1キロ粒剤(ノビエ3.0葉期まで)</p> <p>田植後3〜5日以内</p> <p>マーシエット1キロ粒剤(ノビエ1.0葉期まで)</p>	<p>雑草が残った場合</p> <p>広葉雑草が残ったら</p> <p>粒状水中MCP(収穫60日前まで)</p> <p>ハサグラン粒剤(収穫60日前まで)</p> <p>ノビエが残ったら</p> <p>3.0葉期まで</p> <p>クリンチャー1キロ粒剤(但し収穫40日前まで)</p> <p>5.0葉期まで</p> <p>クリンチャーEW液剤(但し収穫30日前まで)</p> <p>ノビエと広葉が残ったら</p> <p>クリンチャーバSME(収穫50日前まで)</p>
<p>農薬の適正使用について</p> <p>～農業は使用基準を守り、正しく使いましょう!～</p> <p>1. 使用上の注意点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 散布する作物に登録があるのか、よく確認する。 ② 記載されている散布量または散布濃度を守る。 ③ 使用時期、使用回数を守る。 <p>2. 農薬残留基準の強化(ポジティブリスト制度導入)に対する注意点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 隣接する圃場への飛散(ドリフト)を防ぐ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 風のない時に散布する。 ・ 周辺圃場で栽培している作物がこたるときは、飛散しにくい液剤や粒剤を用いた散布をする。 ② 水稲育苗後に野菜を栽培するハウスでは、播種同時苗箱施薬剤の使用やハウス内での箱施薬剤の散布は行わない。 	<p>なのはな米の仕上げはカントリーで!</p> <p>1. 最新の乾燥、調製方式により、良質米の出荷に努めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 均一で高品質、おいしい米に仕上がります。 ・ 消費者へ今摺米として出荷できます。 <p>2. 生産コストの低減につながります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人で乾燥機や粉すり機を持たずすみ、農機具代が低減できます。 ・ 県下一安心利用料により、生産費が低減できます。 <p>3. 作業の省力化ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乾燥、粉すり、袋詰、出荷作業等から解放されます。 ・ コンバインの刈取能力を最大に活かせ、刈取期間が短縮できます。 	